

話が違う！

このままでは税金の無駄？！

高齢者いきいの家「清風園」9月末廃止はストップを

当初

約3倍

「清風園」の解体・擁壁工事だけで 1億9千万円が5億4千万円に！

新宿区議会第2回定例会（6月10日～21日）で高齢者いきいの家「清風園」解体と擁壁改修の予算が可決されました。

ところが、その金額は驚くべきもので、当初1億9000万円と言っていた解体と擁壁改修の予算が約5億4000万円になり、いままで「廃止やむなし」と考えていた方々からも「話が違う！」「おかしい」の声がひろがり始めています。

▽当初の解体等費用 1億9000万円

▼現在、明らかになっている

「清風園」廃止等にかかる予算

■解体等設計委託	3179万円
■解体・擁壁改修費用	5億4594万円
■エレベーターと渡り橋の築造	1億2千万円
計	6億9773万円

▼「清風園」を改修した場合 約2億円

「改修すると2億円もかかる」が廃止の理由だったのに…

これまでの新宿区の説明は、「清風園」の解体等設計委託に約3200万円と解体・擁壁改修費用に約1億9000万円で、合計2億2200万円かかるとしていました。ところが、今定例会に提出された2年半に及ぶ解体・擁壁改修費用は総額約5億4600万円であり、当初の3倍近くに膨張しました。

雨宮議員が代表質問で区長にその理由を問いましたが、「大部分の擁壁で耐震性に疑義が生じたため」「建物の存否に如何に係わらず必要」と答弁。福祉健康委員会で改めて近藤委員が質疑したところ、施設課長からは「いずれ改修が必要」という程度で、区は清風園を解体しなければ必要のない支出であることは認めざるを得ませんでした。

この予算は補正予算の一部ですが、区民不在の清風園廃止決定や膨張する解体等予算は問題と考え、日本共産党区議団は補正予算（第5号）に反対しました。

＜解体・擁壁工事等を含む補正予算（第5号）に対する各会派の賛否＞

自民	公明	共産	民無ク	新宿会	社民	スタ新	ちい声
○	○	×	○	○	×	○	×



代表質問する雨宮議員



委員会で質疑する近藤議員

障害者グループホームの早期建設を！ 危険な急傾斜地ではなく平坦な土地に！

「清風園」は入り口から建物まで約7mの高低差がある急傾斜地のため、障害者グループホームを建設するには、安全性の観点からエレベーターと渡り橋が必須です。



急傾斜地に建つ「清風園」

なによりも、停電時や非常時の安全性を保護者や関係者のみなさんが心配されています。解体等に約2年半、膨張する費用、危険な急傾斜地など問題があります。

中野区では公募4回、5年かかっても決まらず難航

お隣の中野区では、区有地（写真参照）に障害者グループホーム事業者を公募していますが、2016年から公募を開始して、5年間4度に

渡る公募を行っても未だ事業者が決まっていません。土地は平坦で問題がありませんが、看護師など人手の確保が非常に厳しいとのこと。 「清風園」解体後の土地は、事業者は急な傾斜地に建物から計画して建設しなければならず、採算面からも日常の運営面からも公募が難航することは目に見えています。



公募に難航する中野区の土地

「清風園」の廃止について区民は合意してません。今なら引き返せませす。冷静に判断し、障害者グループホームは平坦な都営角筈住宅跡地の活用を東京都へ働きかける等、条件のある公有地を活用し、区が責任を持って早急に建設すべきです。

雨宮議員が代表質問、あざみ・沢田両議員が一般質問を行いました！

◆雨宮議員の代表質問の項目

1. 区長の政治姿勢について
2. 新型コロナウイルス封じ込めのための対策について
3. 若者・学生への支援について
4. 気候変動とCO2の削減について
5. 行政のデジタル化問題について
6. 高齢者いきいの家清風園について

◆あざみ議員の一般質問の項目

1. 痴漢など性犯罪・性暴力対策について



一般質問するあざみ議員

◆沢田議員の一般質問の項目

1. ヤングケアラーへの支援について

いのちを守るため、今夏の五輪・パラリンピックは中止し、コロナ対策に全力を！

日本共産党区議団は、オリンピック・パラリンピックの中止を求め、新宿区のコミュニティ・ライブサイト（ライブビューイング）や児童・生徒の観戦事業の中止を、今定例会でも要求しました。

